



令和7年度 とわだ子ども議会

7月23日、市議会議場で「とわだ子ども議会」を開催しました。
この事業は、子どもの意見に耳を傾け、まちづくりに生かす機会にするとともに、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年度から行っています。
今回は、小学生7人と中学生9人が参加し、議長の小笠原颯真さん、副議長の木村真理さんによる議事進行の下で、子ども議員が市政に対する質問を行いました。子ども議員から、産業の発展、子育て・教育環境、市民の安全など、幅広い分野にわたる素晴らしい質問や提案がされるたび、傍聴席からは大きな拍手が送られました。



▲堂々と質問する小笠原議員、後ろは木村副議長 ▲若手農家を増やすための取り組みについて質問をする附田議員

一連の活動の様子などは市ホームページから▶



子ども議会のまとめとして、レポート作成などを行う「振り返り活動」の様子は市ブログ「駒の里から」▶



▲子ども議会終了後、櫻田百合子市長、田村和久副市長、丸井英子教育長と当選証書を手に記念撮影



▲答弁する櫻田市長

より多くの人に 十和田市の魅力をPR!!	野菜を安く買えるまち	ベテラン農家に 授業をしてもらえないか	私たち子どもと 自治体を守ること
① 畑山 結香 さん (三本木中2年) 質問 市の良さをよりたくさんの人に伝えるために、市の公式TikTokを開設してはどうか。 答弁 市では、高校生が市の魅力を詰め込んだショート動画を作成して情報発信を行うTowaPro事業を実施しており、本年度から試験的にTikTokのアカウントを開設し、この事業で作成した動画を掲載していく。その上で発信の効果を確認していきたい。	② 浜尾 奏佑 さん (北國小6年) 質問 野菜の高値の対策と消費を増やし短命県返上につなげるために、野菜の割引券を配布してはどうか。 答弁 市では、本年度、物価高への対策として一人当たり4,000円の「笑顔あふれる応援券」を配布しており、野菜も買うことができる。健康で笑顔あふれる生活を送ることができるよう、これからもさまざまな取り組みを進めたい。	③ 附田 弘成 さん (藤坂小6年) 質問 若手農家を増やすために、ベテラン農家に学校で農家の良いところなどについて授業をしてもらうのはどうか。 答弁 市では、新たに農業を始める人に対して、適切なアドバイスを行える農家が指導役としてサポートする体制を整備している。この他、学校の授業として取り入れることができるか、教育委員会を通じて学校の先生と検討したい。	④ 中村 陽紀 さん (甲東中3年) 質問 人口減少の対策として、子育てに関する経済的負担を減らす支援を進めてはどうか。 答弁 市では、高校生までの医療費の無償化や子育て応援ギフト事業に取り組んでいる。また、全ての子どもの保育料の無償化、屋内遊戯施設の整備に向けて検討を進めている。「このまちに住みたい」と思えるよう、さらなる子育て支援の充実を図りたい。
英検チャレンジプロジェクト	インターネットを活用した 中央病院の予約	買い物かごが置ける 車いす購入の援助	いつでも!!だれとでも!! 思いきり体を動かせる近くの施設
⑤ 佐々木 愛謝 さん (北國小6年) 質問 現在中学3年生を対象に実施している英語検定料の補助を小学生にも導入してはどうか。 答弁 小学生のうちから英語検定に挑戦することは、基礎的な英語力を高めるきっかけとなる。小学生への補助の導入について、中学1、2年生への補助を含め、これからの英語教育の進展を踏まえながら慎重に検討したい。	⑥ 浜尾 美咲 さん (県立三本木高校附属中2年) 質問 待ち時間がなく受診できるようにするために、インターネットを活用して予約できるようにしてはどうか。 答弁 予約の日時は患者の個々の状態に合わせて診察、処置などの内容を考慮し決定していることから、インターネットでの予約は難しい。待ち時間の短縮について、改善につながるよう、病院内で検討したい。	⑦ 眞家 花奈 さん (県立三本木高校附属中2年) 質問 車いすの使用者が買い物を楽しめるように、買い物かごが置ける車いすを購入する援助をしてはどうか。 答弁 全ての市民が健やかに暮らせるまちの実現のために、大切な取り組みである。現在は特別な予算を設ける計画はないが、車いすの設置について、市内の店舗に子ども議会で提案があったことを伝え、協力していただけないか話したい。	⑧ 木村 真理 さん (十和田中3年) 質問 コミュニティセンターなどの今ある施設をうまく活用し、悪天候時に個人で利用できるようにしてはどうか。 答弁 コミュニティセンターはコミュニティ活動や生涯学習などの施設であるため、現状では運動を目的とした個人利用は難しい。今後、地域のニーズや施設のあり方について検討をする際は、今回の提案を参考にしたい。

練習場所として 学校を利用すること	空き家の土地を 市民の交流広場に!	もっと安心に!もっと安全に! わたしたちの通学路	自然を楽しめる 憩いの場の整備
⑨ 田中 月香 さん (西小6年) 質問 部活の練習場所を確保するために、市の施設の他に休日などで使われていない学校を利用できるようにしてはどうか。 答弁 市では、学校の体育館やグラウンドを有効活用する「学校体育施設開放事業」を実施している。これからも、皆さんがスポーツに触れる機会を増やし、毎日の生活の中でスポーツを楽しめるようにしていきたい。	⑩ 太田 寧々 さん (三本木中3年) 質問 倒壊や火災、犯罪の温床となる空き家を市の予算で壊し、交流広場や避難場所として活用してはどうか。 答弁 法律では、空き家の管理や解体は所有者の責任で行わなければならないとされている。市では、撤去費用の一部の補助を実施しているが、所有者が自らの責任で適切な管理、解体・撤去をしていただけるように促していきたい。	⑪ 東 紀菜子 さん (西小6年) 質問 通学路について、危険箇所のアンケートを取り、カーブミラー設置などの安全対策を実施してはどうか。 答弁 各学校からの改善要望を取りまとめ、市と警察と共同で安全点検を実施している。カーブミラー設置などの安全対策を検討するため、危険な箇所を見つけたら、いつでも学校の先生や保護者に知らせてほしい。	⑫ 小笠原 颯真 さん (甲東中3年) 質問 甲東中入り口から長根尻入り口の区間を自転車と歩行者専用とし、憩いの場として整備してはどうか。 答弁 この区間は近くの農地への農作業車両の通行が不可欠となっていることから、現時点での整備は難しい。提案は、安全性の向上に加え、自然が楽しめる憩いの場や交流の場としての効果が期待できるため、今後の参考としたい。
入口広場でスケボー (スケートボード)を!	ごみをアートに! 大切に!	みんなが協力して官庁街通りの 歩道のタイルを直そう!	車用と歩行者用の 信号機の説明
⑬ 小川 侑揮 さん (東中3年) 質問 官庁街通りの入口広場をスケボーができるように開放してはどうか。 答弁 入口広場は多くの市民が憩う場であり、利用者の安全を守るためにスケボーは禁止している。実現のために騒音やマナー、安全確保などの課題解決に向けた話し合いができるよう、例えばスケボーの団体が設立されるようなことを期待したい。	⑭ 甲斐 大翔 さん (三本木小6年) 質問 使えるごみの再利用を進めるために、ごみで作ったアートの大会を開催してはどうか。 答弁 市では、家庭で不要になったものを回収し、資源として再利用するリサイクルの取り組みを進めている。提案は、アートのまち十和田市にとって、興味深いアイデアだが、まずはごみを少なくし、市民が気持ちよく過ごせるまちにしていきたい。	⑮ 小林 美晴 さん (第一中2年) 質問 剥がれている官庁街通りのタイルを、市が市民と協力して直してはどうか。 答弁 タイルの補修は専門的な作業が必要であるため、市民に協力をお願いすることは難しいが、提案のように市民同士が協力して取り組む活動は、地域の連携や交流を深める大変意義のあることだ。市の道路については、危険箇所の早期発見と補修に努めたい。	⑯ 松芳 蓮士 さん (三本木小6年) 質問 歩車分離式信号機について、設置場所で警察官に分かりやすく説明してもらってはどうか。 答弁 歩車分離式信号機が通常の信号機の動作と異なることについて、長期間にわたる警察官による現地指導は難しい。警察と連携し、登下校時間帯の巡回や取り締まり強化について相談・検討するなど、交通事故のない安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたい。